

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2570101347		
法人名	医療法人 誠仁会 吉徳医院		
事業所名	ぐるーぷほーむ木ー Aユニット		
所在地	滋賀県大津市里5丁目2番60号		
自己評価作成日	平成24年10月12日	評価結果市町村受理日	平成25年1月8日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ ナルク滋賀福祉調査センター		
所在地	滋賀県大津市和邇中浜432番地 平和堂和邇店2階		
訪問調査日	平成24年12月19日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>若い職員が多く、皆 基本理念実現を目標に、より良いケアとは何か？日々考え実践している。利用者様への敬意の気持ちを忘れず、丁寧な言葉遣い、対応を徹底している。開設時より、身体拘束は絶対禁止を貫いている。移動には、車椅子を使用しても、必ず椅子等に座りかえる。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>大津市田上地区の交通至便な所に位置し、母体の病院を始めデイサービス、デイケア、ショートステイが同じ敷地内にあり、連携したサービスに努めているのが「ぐるーぷほーむ木ー」である。ゆとりのある設計で、各ユニットには居間が3室、畳の間や音楽療法やカラオケ等の専用室があり、それぞれにテレビを置き利用者が好みの部屋でゆったりとした時間を過ごしている。広々とした中庭には季節毎に花をつける木々や草花が植えられ、椅子やテーブルを配置し、利用者が散歩したり、バーベキュー、花火、もちつき等で楽しんでいる。管理者の「利用者の個人の能力に合わせた支援を」との思いに基づき、職員が明るく伸び伸びとそれを実践している。家族会が設置され家族同士の連絡網が機能していて、運営推進会議には多くの家族が出席しサービス向上に向けて取り組んでいる。</p>

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2570101347		
法人名	医療法人 誠仁会 吉徳医院		
事業所名	ぐるーぷほーむ木ー Bユニット		
所在地	滋賀県大津市里5丁目2番60号		
自己評価作成日	平成24年10月12日	評価結果市町村受理日	平成25年1月8日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ ナルク滋賀福祉調査センター		
所在地	滋賀県大津市和邇中浜432番地 平和堂和邇店2階		
訪問調査日	平成24年12月19日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>若い職員が多く、皆 基本理念実現を目標に、より良いケアとは何か？日々考え実践している。利用者様への敬意の気持ちを忘れず、丁寧な言葉遣い、対応を徹底している。開設時より、身体拘束は絶対禁止を貫いている。移動には、車椅子を使用しても、必ず椅子等に座りかえる。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>大津市田上地区の交通至便な所に位置し、母体の病院を始めデイサービス、デイケア、ショートステイが同じ敷地内にあり、連携したサービスに努めているのが「ぐるーぷほーむ木ー」である。ゆとりのある設計で、各ユニットには居間が3室、畳の間や音楽療法やカラオケ等の専用室があり、それぞれにテレビを置き利用者が好みの部屋でゆったりとした時間を過ごしている。広々とした中庭には季節毎に花をつける木々や草花が植えられ、椅子やテーブルを配置し、利用者が散歩したり、バーベキュー、花火、もちつき等で楽しんでいる。管理者の「利用者の個人の能力に合わせた支援を」との思いに基づき、職員が明るく伸び伸びとそれを実践している。家族会が設置され家族同士の連絡網が機能していて、運営推進会議には多くの家族が出席しサービス向上に向けて取り組んでいる。</p>

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

Aユニット

〔セル内の改行は、(Altキ-) + (Enterキ-)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	GH独自の理念としてはないが、法人の理念として、地域密着型サービスの意義に則ったものがあり、日々理念のより深い理解に努め業務にあたっている。	「地域に密着した質の高い医療・福祉サービスを提供する」との理念を毎月開催している職員会議席上で唱和し理念の共有化を図っている。訪問者や利用者にも分かるよう玄関に掲示している。	
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議に参加頂いている民生委員を通じて、事業所としての自治会参加を打診中。地域の納涼祭等には参加している。	地元の祭りや納涼祭には毎年参加している。地元中学生の職場体験や小学生、保育園児の演奏や訪問ボランティアを受けている。ヘルパー研修の実践実習を積極的に受け入れている。	昨年から課題となっている地元自治会への法人として加入する事も含め、各種行事への参加を増やす等、更なる働き掛けを期待したい。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の方々の相談に応じている。		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域包括担当者、民生委員、地域からの有志に参加頂いている。運営推進会議で出た意見を参考に、職員とも話し合い今後に活かしている。	2ヶ月毎に開催し、特に家族の出席が多く、サービス向上に対し積極的に意見交換している。議事録によりフォローと職員間の情報共有化を図りサービス向上に努めている。玄関に議事録を置き誰でも閲覧できる。	
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	随時、地域包括支援センター担当者と連絡を取り情報交換、交流を行っている。運営推進会議にも毎回ご参加頂いている。	地域包括支援センターとは絶えず情報を交換し、指導を受けている。最近市の介護保険課から管理者交代における手続き要領について指導を受けた。	
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	開所以来の法人全体の共通理念として、身体拘束は原則行わない。ご家族にも説明し、ご理解頂いている。	身体拘束は禁止との方針を絶えず確認、車椅子に乗せたままの介助は身体拘束として移動時のみ利用する事を徹底している。玄関の施錠はしていない。法人として年に1回身体拘束回避についての研修会を開催している。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所内外は勿論、利用者様の介助に対して、職員間で常に注意しあっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修等で学んでいる。 現在、制度をご利用されている利用者様がおられます。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	1ページ1ページ、実例を踏まえ説明し、質疑応答に応じ、理解・納得頂けるよう努めている。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご本人やご家族より、常に意見や要望を頂けるよう配慮し、提言された事は、職員と共有している。ご意見箱を設置し、広く情報収集に努めている。	利用者はもとより家族訪問時には職員が寄り添い要望や意見を確認している。バーベキュー等の行事に併せ家族会を年1回開催し、サービス向上等について意見を聞いたり話し合い家族も協力している。	
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、職員会議を開催し、自由に意見交換ができる機会を設けている。	毎月の職員会議で自由に意見交換している 最近夜勤2人体制を実行したが、勤務時間帯について提言があり、小さな子供の居る職員も勤務できる様に内1人の時間帯を16時間勤務を8時間に短縮した。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境条件の整備に努めている	1年に1回、全職員に対して自己評価、及び管理者、リーダーとの面談を実施している。お互いより向上出来る環境作りは、人員増員に伴い益々努力していかなければならない。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格取得を積極的に推進、バックアップしている。必要に応じて研修等への参加もしている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	淡海GH協議会に事業所として参加、研修会へも職員を派遣している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	コミュニケーションを図り、情報を集めご本人様に適した支援のあり方を考えた上で、信頼関係構築と不安軽減に努めている。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	話しやすい状況作りを職員は常に心掛け、各利用者様の担当職員は、コミュニケーションツール確保拡大に努めている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	法人他事業所とも連携を図りご本人様の状況に合ったサービスを支援出来るよう努めている。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員をより身近に感じて頂けるようコミュニケーションの時間を多く持ち感情を出しやすい環境に努めている。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	離れて暮らしていても、ご家族と職員はご本人を支えるチームとして、協力・相談しあえる距離を保っている。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	GHとしては、入居しても連絡・訪問を積極的に受け入れ、継続していただけるよう支援している。	利用者の要望で以前住んでいた家を訪ね仏壇にお参りした。遠くに住む家族が近くに来たので顔を見たいと要請があり利用者連れて行った。友人知人の来所者については職員から家族の了解を得ている。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合った方々での活動の機会や場の提供を行っている。 コミュニケーションの円滑化を図る努力も行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	繋がりは途絶えておらず、ニーズがあれば相談・援助を行っている。		
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人からの要望は勿論、場合によっては、ご家族からの助言にて意向の汲み取りを試みている。基本、困難な場合でも色んな側面から推測し、実践に努めている。	フェースシートや利用者と家族から趣味や出来る事を確認し、毎日寄り添ってほしい事を聞き出したり今日はこれでしょうか？等と呼びかけている。新聞や本を読み、カラオケ、トランプ、テレビゲーム等の支援をしている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族から人生の履歴の情報収集に努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	業務日誌・申し送りと共に各々の職員の気付き疑問などの情報共有・交換を通じ、ケアの向上に努めている。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員、ご家族との情報共有は、常に行い、現在、未来の問題点、改善点を見据え、ご本人の意に添えるプラン作りを心掛けている。	計画は3ヶ月毎に見直している。症状の急変時は主治医の指導を受け都度見直し家族の了解を得ている。最近亡くなった主人の仏壇にお供えする花や供物を利用者本人が直接購入する事を計画に盛り込んだ。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の個別記録が情報収集に役立っている。担当者が定期的に内容確認をし、ケアプランに反映させている		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々、状態が変化していく利用者様のニーズに対して各専門職との連携をこまめに取り、柔軟なサービスに取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	必要あれば活用も見当したいが、現在は対象者が、おられない。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医である吉徳医院と密に情報共有し、急変に常に対応できるような連携体制をとっている。	内科については契約時に家族と相談し合意の上全員かかりつけ医を母体の病院に変更している。その他皮膚科、整形外科、眼科、歯科などはそれぞれのかかりつけ医への通院の付き添いなどの支援をしている。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	情報の変化は、日々報告し、相談も含め看護職とも連携を欠かさず取っている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	併設診療所と病院との「病診連携システム」にてスムーズに行われている。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時の個々への相談及び急変時は、各医療機関との連携をとり、ご本人、ご家族へのサポートに努めている。	重度化や終末期まで看取る事が出来る事を宣言し、その対応について契約時に利用者や家族と相談し文書化して確認している。その後契約更新時に都度見直し確認している。開所以来8年間で3人を看取った。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	現状をふまえた対応、処置等の周知確認を都度行っている。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練は定期的に行っている。地域との協力、連携体制強化が望まれる。	年に2回法人として消防署の指導を受けて避難、消火訓練を実施した。夜間の避難も想定している。非常時の連絡網を作成し非常ベルから法人各リーダーに自動的に携帯電話が繋がるようシステム化している。	非常時には地元の手助けは不可欠であり、近隣住民の協力を得るための努力を期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーに配慮した環境の提供、目上の方への適切な言葉使いは常に注意している。場にそぐわない表現は指導している。	言葉掛けは敬語使用を原則としている。トイレは羞恥心に配慮して、それとなく誘導している。入浴は個室で女性には同性の介助を守っている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	希望や思いを汲み取る事を重視したケアを心がけている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	希望に添える最大の努力を心がけている。職員のみでは応じきれない要望もご家族の協力により実践できている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的な理美容の利用、衣類や化粧品等の購入でご本人の好みや楽しみを支援している。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養管理士の元、厨房にて全利用者の嗜好に合った献立を提供している。月に2回赤飯の日はGHで調理している。又、後片付けや準備など、その方の能力に応じて作業している。	個々の症状に合わせた刻み食やおかゆを用意しパン食では選択制を導入している。誕生日の時などケーキを利用者と協力して作っている。季節の旬のものを献立に取り入れている。食事は職員も共にし、楽しく話しながら過ごしている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量の表記入を徹底し、一人一人の健康管理に職員、栄養士ともに努めている。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは勿論、誤嚥性肺炎の予防にも努め、必要に応じ歯科受診も行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレでの排泄を基本とし、オムツやパットに頼ってばかりの介助は極力さげ、自立に向けたケアを考えている。	リハビリパンツを利用し、利用者個人個人の排泄パターンを知り、本人の行動がない場合は事前にトイレ誘導を行なっている。この効果により失敗する事が少なくなった利用者もいる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の体調を考慮しながら週2回乳製品の定期的な取り入れや手作りおやつなども工夫している。毎朝の体操は欠かさず行い、職員はコンチネンタルケアを推進している。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	職員と1対1でゆったり入って頂いている。個別の希望に添える事が、これからの課題になっている。	入浴頻度は2日に1回、時間帯は午後を原則としている。但し回数や時間帯など利用者の要望に応じ、夕方を希望する場合も支援している。苜蒲湯やゆず湯を用意している。個別に入浴剤を持参し使用することもある。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活リズムの把握を元に御高齢のみなさんには、その日の状態に応じて休息を促している。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員全員が全ての服薬情報を把握し管理している。起こるかもしれない副作用についても十分気を付けている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	経験、特技、嗜好を活かし継続できるよう支援している。職員全員が年間行事に取り組み、楽しみや気分転換を図って頂ける努力をしている。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出はご本人の好みに合わせた支援を心がけている。外出の機会をご本人の体調を考慮しながら意欲的に取り組みたい。	天気の良い日は中庭や近所の花屋、クリーニング屋へ散歩している。季節に応じて花見や紅葉狩り等への食事付きドライブやスーパーへの買い物に出掛けている。デイケア等の隣の施設の友達を訪ねることもある。中庭ではバーベキューや花火大会を開催している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	身の回りの細かいものやおやつ、理美容代等少額の金銭管理は支援している。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	時候の便りを心がけ電話連絡は日常的に支援している。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	閉塞的でないよう、ゆったりと落ち着いた共有スペース作りと花のある暮らしをこころがけている。	玄関にクリスマスツリーや利用者の習字の作品等貼り出している。居間や廊下は明るくて広々とした設計で窓際にはシクラメン等の花を置き季節感がある。カナリヤを飼いその声が利用者を癒してくれる。サイドボードには各種調度品を並べ家庭的雰囲気である。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	空間を自由に使って頂ける配慮をし、場合によってはご家族とゆっくり過ごせるスペース作りも行っている。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人に馴染みのある物をご家族の協力の元、揃えて頂き安心のある空間作りに努めている。	利用者の思い入れのあるタンスやテーブルを持ち込み、家族写真や本人の作品の絵や習字を飾ったり、主人の位牌や冷蔵庫、テレビ、テレビゲームを持ち込んでいる。気に入ったカーテンに交換した利用者もいる。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	見守りだけの安全だけではなく危険だからと短絡的に支援することなく生活の中の沢山のりハビリに通じるような自立に向けた環境作りに努めている。		

自己評価および外部評価結果

Bユニット

[セル内の改行は、(Altキ-) + (Enterキ-)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>GH独自の理念としてはないが、法人の理念として、地域密着型サービスの意義に則ったものがあり、日々理念のより深い理解に努め業務にあたっている。</p>		
2	(2)	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>運営推進会議に参加頂いている民生委員を通じて、事業所としての自治会参加を打診中。地域の納涼祭等には参加している。</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>地域の方々の相談に応じている。</p>		
4	(3)	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>地域包括担当者、民生委員、地域からの有志に参加頂いている。運営推進会議で出た意見を参考に、職員とも話し合い今後活かしている。</p>		
5	(4)	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>随時、地域包括支援センター担当者と連絡を取り情報交換、交流を行っている。運営推進会議にも毎回ご参加頂いている。</p>		
6	(5)	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>開所以来の法人全体の共通理念として、身体拘束は原則行わない。ご家族にも説明し、ご理解頂いている。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>事業所内外は勿論、利用者様の介助に対して、職員間で常に注意しあっている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修等で学んでいる。 現在、制度をご利用されている利用者様がおられます。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	1ページ1ページ、実例を踏まえ説明し、質疑応答に応じ、理解・納得頂けるよう努めている。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご本人やご家族より、常に意見や要望を頂けるよう配慮し、提言された事は、職員と共有している。ご意見箱を設置し、広く情報収集に努めている。		
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、職員会議を開催し、自由に意見交換ができり機会を設けている。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	1年に1回、全職員に対して自己評価、及び管理者、リーダーとの面談を実施している。お互いより向上出来る環境作りは、人員増員に伴い益々努力していかなければならない。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格取得を積極的に推進、バックアップしている。必要に応じて研修等への参加もしている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	淡海GH協議会に事業所として参加、研修会へも職員を派遣している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>コミュニケーションを図り、情報を集めご本人様に適した支援のあり方を考えた上で、信頼関係構築と不安軽減に努めている。</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>話しやすい状況作りを職員は常に心掛け、各利用者様の担当職員は、コミュニケーションツール確保拡大に努めている。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>法人他事業所とも連携を図りご本人様の状況に合ったサービスを支援出来るよう努めている。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員をより身近に感じて頂けるようコミュニケーションの時間を多く持ち感情を出しやすい環境に努めている。</p>		
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>離れて暮らしていても、ご家族と職員はご本人を支えるチームとして、協力・相談しあえる距離を保っている。</p>		
20	(8)	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>GHとしては、入居しても連絡・訪問を積極的に受け入れ、継続していただけるよう支援している。</p>		
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>気の合った方々での活動の機会や場の提供を行っている。 コミュニケーションの円滑化を図る努力も行っている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	繋がりは途絶えておらず、ニーズがあれば相談・援助を行っている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人からの要望は勿論、場合によっては、ご家族からの助言にて意向の汲み取りを試みている。基本、困難な場合でも色々な側面から推測し、実践に努めている。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族から人生の履歴の情報収集に努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	業務日誌・申し送りと共に各々の職員の気付き疑問などの情報共有・交換を通じ、ケアの向上に努めている。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員、ご家族との情報共有は、常に行い、現在、未来の問題点、改善点を見据え、ご本人の意に添えるプラン作りを心掛けている。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の個別記録が情報収集に役立っている。担当者が定期的に内容確認をし、ケアプランに反映させている		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々、状態が変化していく利用者様のニーズに対して各専門職との連携をこまめに取り、柔軟なサービスに取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	必要あれば活用も見当したいが、現在は対象者が、おられない。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医である吉徳医院と密に情報共有し、急変に常に対応できるような連携体制をとっている。		
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	情報の変化は、日々報告し、相談も含め看護職とも連携を欠かさず取っている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	併設診療所と病院との「病診連携システム」にてスムーズに行われている。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時の個々への相談及び急変時は、各医療機関との連携をとり、ご本人、ご家族へのサポートに努めている。		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	現状をふまえた対応、処置等の周知確認を都度行っている。		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練は定期的に行っている。地域との協力、連携体制強化が望まれる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーに配慮した環境の提供、目上の方への適切な言葉使いは常に注意している。場にそぐわない表現は指導している。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	希望や思いを汲み取る事を重視したケアを心がけている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	希望に添える最大の努力を心がけている。職員のみでは応じきれない要望もご家族の協力により実践できている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的な理美容の利用、衣類や化粧品等の購入でご本人の好みや楽しみを支援している。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養管理士の元、厨房にて全利用者の嗜好に合った献立を提供している。月に2回赤飯の日はGHで調理している。又、後片付けや準備など、その方の能力に応じて作業している。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量の表記入を徹底し、一人一人の健康管理に職員、栄養士ともに努めている。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは勿論、誤嚥性肺炎の予防にも努め、必要に応じ歯科受診も行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	トイレでの排泄を基本とし、オムツやパットに頼ってばかりの介助は極力さけ、自立に向けたケアを考えている。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の体調を考慮しながら週2回乳製品の定期的な取り入れや手作りおやつなども工夫している。毎朝の体操は欠かさず行い、職員はコンチネンタルケアを推進している。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	職員と1対1でゆったり入って頂いている。個別の希望に添える事が、これからの課題になっている。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活リズムの把握を元に御高齢のみなさんには、その日の状態に応じて休息を促している。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員全員が全ての服薬情報を把握し管理している。起こるかもしれない副作用についても十分気を付けている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	経験、特技、嗜好を活かし継続できるよう支援している。職員全員が年間行事に取り組み、楽しみや気分転換を図って頂ける努力をしている。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出はご本人の好みに合わせた支援を心がけている。外出の機会をご本人の体調を考慮しながら意欲的に取り組みたい。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	身の回りの細かいものやおやつ、理美容代等少額の金銭管理は支援している。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	時候の便りを心がけ電話連絡は日常的に支援している。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	閉塞的でないよう、ゆったりと落ち着いた共有スペース作りと花のある暮らしをこころがけている。		
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	空間を自由に「使って頂ける配慮をし、場合によってはご家族とゆっくり過ごせるスペース作りも行っている。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人に馴染みのある物をご家族の協力の元、揃えて頂き安心のある空間作りに努めている。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	見守りだけの安全だけではなく危険だからと短絡的に支援することなく生活の中の沢山のりハビリに通じるような自立に向けた環境作りに努めている。		

事業所名 ぐるーぷほーむ木一

作成日: 平成 24年 12月 29日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 (2)	事業所と地域とのつきあい 地元自治会への法人としての加入を始め、地域行事への参加や交流を増やし、地域との関わりを強化したい。	地元自治会への加入を含め、地域とのつながりを強化したい。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事や交流の場に積極的に参加 ・地域の社会資源の積極的な活用 ・地元自治会の加入の申請を継続 ・運営推進会議への地域の参加要請 	12ヶ月
2	35 (13)	災害対策 非常時の避難や消火などの対応に、法人や事業所だけの力では不安があり、地域の協力を得る為の努力をしたい。	非常時の避難や消火などの対応力を強化したい。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所単位での防災訓練の実施 ・防災設備の定期的な点検と評価 ・避難経路の整理整頓や有効な動線の確保 ・各事業所や地域、家族との連携の強化 	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。